

年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	3 学 年	音 楽

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p style="text-align: center;">生涯にわたり，音楽に親しんでいくための資質や能力を育む生徒を育てる。</p> <p style="text-align: center;">①音楽を愛好する心情を育て，豊かな情操を育てる。</p> <p style="text-align: center;">②音楽に対する感性を豊かにし，音楽活動の基礎的な能力を伸ばす。</p> <p style="text-align: center;">③日本の音楽にふれ，進んで活動し，音楽のよさや美しさを味わう。</p> <p style="text-align: center;">④アンサンブル活動を通してコミュニケーション力を高める。</p>
使用教材	<p>教科書：教育芸術社「中学生の音楽2・3上下」「中学生の器楽」</p> <p>補助教材：教育芸術社「合唱曲集 翼をください」</p>

2 評価の観点および方法

	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲に関心をもち，積極的に授業に参加している。 ・ 歌唱や器楽演奏をするとき，集中して練習に取り組んでいる。 ・ 実技テストでは練習の成果を発揮し，意欲的に表現している。 ・ 感想プリントを，観点にそって記入している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業観察 ・ 実技テスト ・ 感想プリント
②音楽的な感受や表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の内容を感じ取り，リズムや抑揚に気をつけ表現できている。 ・ 他の声部を意識しながら，演奏できる。 ・ 演奏記号に気をつけ，曲想にあった表現を工夫している。 ・ よりよい演奏をするためにどのような表現方法があるか考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業観察 ・ 実技テスト ・ 定期テスト ・ 感想プリント
③表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌唱では豊かな発声で正しい音程，発音，リズムに気をつけ，表情豊かに歌うことができる。 ・ アルトリコーダーでは運指，タンギングに気をつけ，良い音色や姿勢で演奏できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業観察 ・ 実技テスト ・ 定期テスト
④鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範奏や友人の演奏を熱心に聴くことができる。 ・ 作品の時代背景や作曲者について充分理解している。 ・ 鑑賞曲を聴き，楽曲の響きや曲想に興味をもって聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業観察 ・ 感想プリント ・ 定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 合唱 (同声2部・混声3部) 「花」 「君に会えたことに…」 合唱コンクールの取り組み (選曲・指揮・伴奏・パート決定) 鑑賞 オペラ「アイダ」 器楽 (アルトリコーダー) 	<p>①・毎回の授業で集中して練習に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 正しい姿勢で、歌やリコーダーの練習、演奏ができる。 歌唱では大きな声で正しい音程、発音、リズムに気をつけて歌おうとしている。 アルトリコーダーでは運指、タンギング、ブレスに気をつけて演奏しようとしている。 実技テストに意欲的に取り組んでいる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールの練習 鑑賞 「ブルタバ」 器楽 (アルトリコーダー) 	<p>②・歌唱では歌詞の内容を感じ取り、リズムの抑揚に気をつけ表現できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーでは運指、タンギング、ブレスに気をつけ、曲想に合った演奏をすることができる。 他の声部を意識しながら演奏できる。(歌唱、器楽) 強弱や曲想などの演奏記号に気をつけ、表現を工夫している。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 合唱 (混声3部) 「春風の中で」 「絆」 卒業式歌 アルトリコーダー 鑑賞 「様々な演奏形態について」 	<p>③・歌唱では正しい姿勢、大きな声で正しい音程、発音、リズムに気をつけ体全体をつかって表情豊かに歌うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーでは運指、タンギング、ブレスに気をつけ、美しい音色で演奏することができる。 <p>④・楽曲に関心を持ち、集中して聴くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞プリント等は観点に沿って、自分の感じたことをまとめ、表現することができる。 定期テストでは作品の時代背景や、作曲者について理解できている。 より良い演奏にするために範唱や範奏、仲間の演奏を聴き、表現方法を感じ取ることができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> チャイムがなるまでに音楽室に移動し、忘れ物がないよう準備しよう。 練習の目的を理解し、集中して練習しよう。 授業中の指示や、演奏記号の説明は教科書にメモをして演奏に活かしていこう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習った楽曲の旋律や歌詞を確認しよう。 授業で習った演奏記号などを、復習し覚えよう。